



Title	太宰治スタディーズ 第1号 目次
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2006, 1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97251">https://hdl.handle.net/11094/97251</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 太宰治スタディーズ

第1号

2006.09

総特集II 『斜陽』

イントロダクション——いま、なぜ、太宰治『斜陽』なのか 松本和也

4

## 太宰治『斜陽』研究史

7

一九四〇年代 岡村知子／一九五〇年代 井原あや／一九六〇年代 松田忍

一九七〇年代 永吉寿子／一九八〇年代 小澤純／一九九〇年代 吉岡真緒

## 論文——特集『斜陽』を読む

大國真希 虹と水平線

斎藤理生 太陽と言葉——『斜陽』試論

萬所志保 太宰治『斜陽』についての一考察——真／偽を越えて

吉岡真緒 太宰治「斜陽」論——物語の転換と余白

物語／「私」

60 45 32 20

「太田静子」／「斜陽日記」

- 井原あや 『斜陽』のざわめく周縁―太田静子へのイメージ化―  
小澤 純 《傾斜》する記憶―『斜陽日記』／『斜陽』試論  
89 73

時代／イデオロギ―

- 青木京子 『斜陽』と〈道徳革命〉―「教育勅語」・「家族制度」をめぐる  
岡村知子 太宰治「斜陽」論―問題系としての戦後ロマン主義―  
滝口明祥 かず子の〈革命〉、サチ子の〈退屈〉  
141 125 106  
―太宰治『斜陽』と坂口安吾『青鬼の禪を洗う女』  
永吉寿子 「斜陽」における〈破壊〉と〈犠牲〉―太宰治の倫理性  
松本和也 明滅する〈自由〉―太宰治『斜陽』を解読する  
177 159

著者紹介  
奥付&編集後記

「太宰治スタディーズ」の会

